

としはる通信

2012.9

No.4 2

編集、発行
川村 俊治
〒258-0111
山北町向原
17-10
Tel.75-0928
E-Mail
t-kawamu@mv
d.biglobe.ne.jp



ごあいさつ

異常な暑さが続いた季節も、彼岸花と黄金色の稲穂の調和が美しい収穫の季節を迎えました。

異常気象の影響によると思われる野生動物の人里への接近、秋の魚の不漁、局地的な集中豪雨など生活への影響も出てきました。

自然と向き合い変化に対応する力を身につけていかなければならない時代になったのでしょうか。

さて、9月5日から14日までの10日間、山北町議会第3回定例会が開催されました。主な議題は平成23年度決算の認定でした。

速報としていつものようにお知らせしてまいります。ご一読いただいてご意見などお寄せいただきませうようお願い申し上げます。



川村としはる
(俊治)

一般質問

山北駅活用と駅前活性化

山北駅無人化に伴い、NPO法人「情緒豊かな町づくり」への委託による切符販売が5月から開始されました。

一方、静岡・神奈川両県の14市町で構成する御殿場線輸送力増強促進連盟は、精力的に御殿場線の輸送力増強に取り組んでいます。御殿場〜沼津間に比べ、御殿場〜国府津間の輸送力が見劣りします。具体例で①御殿場駅発の普通電車でみると、沼津方面35本に対し、国府津方面は23本、②無人駅は御殿場〜沼津間で2駅、国府津方面は松田駅を除き無人、③御殿場〜沼津間は無人駅を含めICカードが使えない、国府津方面は使えない。

質問 山北駅の切符委託販売が始まったが、成果や問題点をどのようにとらえているか。

答弁 一日平均70名の利用で、月平均の売り上げは約65万円です。

す。近隣の方々が待合室に花を飾ってくれたり、俳句の短冊を並べてくれたり、駅舎を中心として新しいコミュニティが生まれています。

問題点としては、駅舎のごみ処理、落し物の取り扱い、ICカードに関する問い合わせの対応です。

質問 御殿場〜沼津間に比べ、御殿場〜国府津間の輸送力が見劣りする。改善の予定はあるか。

答弁 JR東海に利便性向上の要望をしているが、沼津方面を国府津方面より優先しているのではないかと思えないダイヤを組んでいると思われるので、強く改善を要望しています。

質問 国府津方面の乗客はJR東日本や他の私鉄に乗り換える客が多いと思われるので差別しているのではないか。

答弁 それに類する質問は毎回行

っています。

質問 JR東海が御殿場〜国府津間にTOICA端末を設置する考えがなければ、JR東日本と交渉してSUICA端末を設置できないか。

答弁 JR東海のエリアにSUICA端末を置けないので、国府津の乗り換え時に精算できる端末を設置しようJR東日本と調整しています。

質問 JR東日本とJR東海をまたがっての利用はできない。

答弁 国府津駅と山北駅にTOICA端末を設置すれば利用できます。

*TOICA、SUICAとは

ICカード乗車券で、自動改札機の読み取り部に軽く触れるだけで通過できる。あらかじめカードにチャージ(入金)しておくだけで、その都度乗車券の購入や乗り越し精算を行う必要がなく、財布などから定期券やカードを出す手間も省ける。

TOICAはJR東海、SUICAはJR東日本が発行している。会社間をまたがっては利用できないが、各会社のエリア内ではどちらのICカードも利用できる。

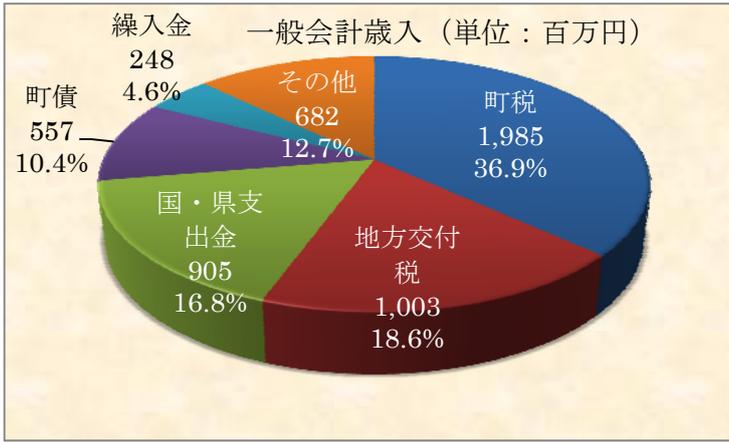
平成23年度決算

一般会計の状況

歳入

○町税は前年度比2%減、使用料及び手数料は8.4%減、繰越金は増で自主財源は歳入総額の50.3%となりました。

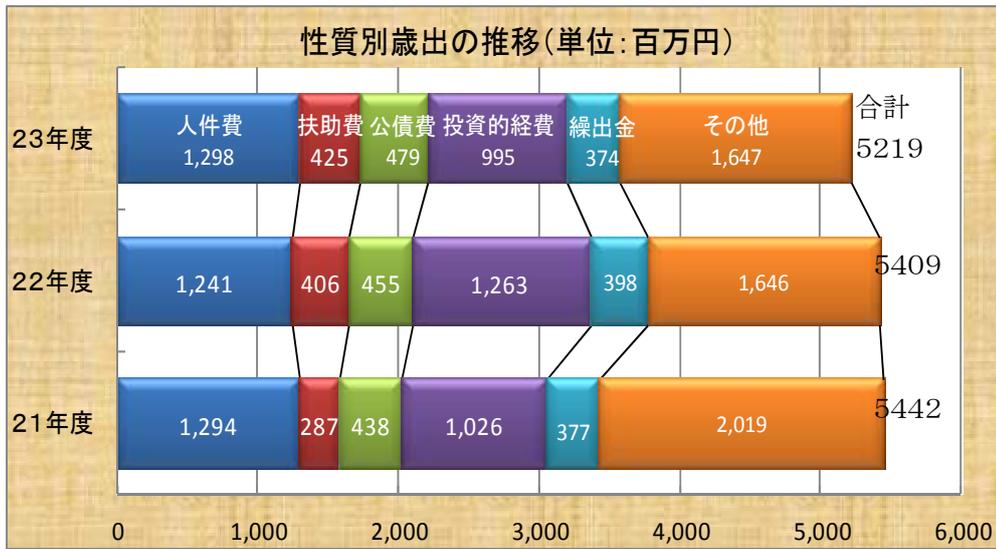
○まちづくり交付金事業の終了などにより国庫支出金が5.5%減、地方交付税も8.8%減、災害復旧等のため町債の31.6%



歳出

増などで、依存財源は歳入総額の49.7%となりました。

○町税、地方交付税、国・県支出金及び町債が4大財源です。



○人件費では職員給は減少しま

したが、退職手当組合負担金、議員共済会給付費負担金(議員年金の廃止に伴い、現在年金を受給している退職議員の給付に充てる負担金)の増加です。

○扶助費は子ども手当や障害者自立支援給付の増です。

○投資的経費は災害復旧費が増しましたが、まちづくり交付金事業の終了、中山間地域総合整備事業の減により減少しました。

○その他ではパークゴルフ場管理運営事業で物件費が増、足柄消防組合、足柄上衛生組合に対する負担金(補助費等)が減少し前年度とほぼ同額となりました。

将来にわたる財政負担

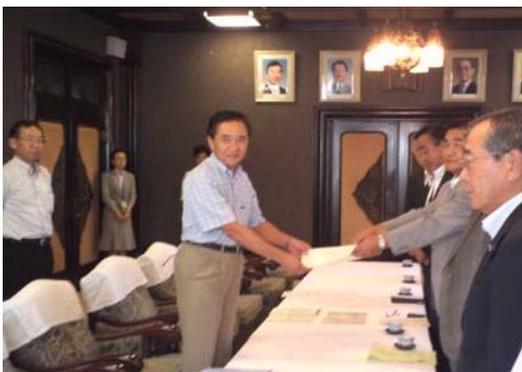
年度末における町債(借金)残高は41億9602万円、債務負担行為(将来にわたる経費負担)残高は12億7188万円で、これらの合計から積立金現在高12億8918万円を差し引いた、将来にわたる財政負担額は41億7872万円となり、前年度より1億3604万円増加しました。

県知事に要望書を退出

箱根・南足柄間道路建設促進

近隣1市6町の議員で構成する箱根・南足柄間道路建設促進連盟(代表・南足柄市石田議員、90名)の幹事13名は、8月23日に県庁を訪れ、黒岩知事に面会して、早期の道路建設を要望しました。昨年に引き続きの要望書提出で、山北町からは池谷議長と私川村が出席しました。なお、今回は、地元選出の杉本県議会議員も同行してくださり、口添えをしていただきました。

実現の時期が明確になるまで引き続き要望活動を続ける必要があると考えます。



黒岩知事に要望書を手渡す石田会長